

耐火書庫(金庫)のアスベスト使用のお問合せの件

お問合せいただきました標記の件に関しましては、分析結果を添付資料といたしましてご説明申上げます。ご覧いただきまして、ご不審な点あるいはご質問等ございましたら、お手数ですがご連絡を賜りますようお願い申上げます。

記

1. 弊社は耐火書庫の本体と扉の接する部分にテープ状に編んだ（アスベスト）を使用した経緯がございます。
2. 製造期間は昭和35年から昭和56年迄です。
3. 通常のご使用状態での扉開閉では飛散するような事はございません。
磨耗も無いと考えられます。
故意に剥がされませぬようご注意をお願い申上げます。
4. ご心配でしたら、該当する部分の上面を **粘着テープあるいはシリコン系コーティング剤塗付** 等で覆って頂けますと更にご安心頂けるものとご推察申上げます。
5. 本体内外部、扉の内側に白色粉末の確認状態が思慮されます。
6. 弊社使用中の同等品で、白色粉末を採取し、埼玉県指定、熊谷環境分析センターにて上記の資料分析をいたしております。
7. 分析結果の「石綿分析結果報告書」を添付いたします。ご高覧願います。

報告No.A06-167 テープ

報告No.A06-168 白色粉末（充填したセメントの粉末）

8. 報告書によりまして、ご心配の白色粉末はアスベストではありません。
誠に申訳ございません。お手数でも除去されることをお願い申上げます。
9. ご心配でしたら、該当する部分の上面を粘着テープ等で覆って頂けますと更にご安心頂けるものとご推察申上げます。

東京鋼鐵工業株式会社

上尾工場 工場長 佐藤秀彦

本社

東京都北区王子1-23-5

TEL 03-3919-1141

平成18年 6月 9日

東京鋼鉄工業株式会社様

報告No.A06-167~168

株式会社熊谷環境分析センター
代表取締役 萩原美澄
〒360-0855 埼玉県熊谷市高柳1番地7
電話番号 048(532)1655
FAX 048(532)1628

石綿分析結果報告書

1. 試料名 ①金庫耐火物（布状）
②金庫耐火物（粉状）

2. 試料採取日 平成18年6月1日（木曜日）

3. 分析項目 石綿（アスペスト）

ご依頼による分析結果を別紙のとおり報告します。

石綿分析結果報告書

平成18年 6月 9日

東京鋼鉄工業株式会社様

報告No.A06-167

計量証明事業濃度第501号

株式会社 熊谷環境分析センター

埼玉県熊谷市高柳1番地7

〒360-0855 TEL 048-532-1655

分析管理者 酒井 徹行

試 料 名	①金庫耐火物(布状)
採 取 年 月 日	平成18年 6月 1日(木曜日)
採 取 区 分	[] 持込 [○] 受取 [] 当方採取
分 析 方 法	定性分析:「建築物の耐火等吹付け材の石綿含有率の判定方法について」(基発第188号) 定量分析:「建材中の石綿含有率の分析方法について」(基安化発第0622002号)準拠

ご依頼いただいた分析結果を下記のとおり報告します。

分析の対象	分析結果		
	定性分析 (含有の有無)	定量分析 (含有率)	石綿以外の主成分
石綿(アスベスト)	含 有	クリソタイル 37%	(同定できず)
-以下余白-			
備 考	定性分析結果が「非含有」の場合、位相差顕微鏡による分散染色法において石綿が確認されないもの、又はエックス線回折分析法において1%を超える石綿が確認されないものをいう。		

石綿分析結果報告書

平成18年 6月 9日

東京鋼鉄工業株式会社様

報告No.A06-168

計量証明事業濃度第501号
 株式会社 熊谷環境分析センター
 埼玉県熊谷市高柳1番地7
 TEL 048-532-1655
 分析管理者 酒井徹行

試 料 名	②金庫耐火物(粉状)
採 取 年 月 日	平成18年 6月 1日(木曜日)
採 取 区 分	[] 持込 [○] 受取 [] 当方採取
分 析 方 法	定性分析:「建築物の耐火等吹付け材の石綿含有率の判定方法について」(基発第188号) 定量分析:「建材中の石綿含有率の分析方法について」(基安化発第0622002号)準拠

ご依頼いただいた分析結果を下記のとおり報告します。

分析の対象	分析結果		
	定性分析 (含有の有無)	定量分析 (含有率)	石綿以外の主成分
石綿(アスベスト)	非含有	————	炭酸カルシウム
-以下余白-			
備 考	定性分析結果が「非含有」の場合、位相差顕微鏡による分散染色法において石綿が確認されないもの、又はエックス線回折分析法において1%を超える石綿が確認されないものをいう。		

石綿分析結果一覽表

(注) 定性分析結果が「非含有」の場合、位相差顕微鏡による分散染色法において石綿が確認されないもの、又はエックス線回折分析法において1%を超える石綿が確認されないものをいう。

株式会社 熊谷環境分析センター

石綿分析記録

報告 No.	A06-167
試料名	①金庫耐火物(布状)
採取年月日	平成18年 6月 1日(木曜日)

【1. 定性分析記録】(分析方法:「建築物の耐火等吹付け材の石綿含有率の判定方法について」(基発第188号))

1-1. 位相差顕微鏡による分散染色法

石綿名称 顕微鏡屈折率	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト
1.55	有り	—	—
1.68	—	無し	無し
1.70	—	無し	無し

1-2. エックス線回折分析法 (1%以上=含有、1%未満=非含有)

石綿名称	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト
石綿の有無	含有	非含有	非含有
石綿以外の主成分	(同定できず)		

【2. 定量分析記録】(分析方法:「建材中の石綿含有率の分析方法について」(基安化発第0622002号) 準拠)

エックス線回折分析法

石綿名称	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト
石綿含有率	37%	—	—

エックス線回折装置の測定条件

装置の名称	MultiFlex (2 kW) (株式会社リガク)		
	定性分析	定量分析	単位
対陰極 (Target)	Cu		
電圧 (Voltage)	40	40	kV
電流 (Current)	40	40	mA
カウンタモノクロメータ	固定モノクロメータ		
発散スリット	1	1/2	°C
散乱スリット	1	1	°C
受光スリット	0.3	0.3	mm
走査モード	連続	FT (フィクストタイム)	
スキャンスピード	2.000	—	°C/分
サンプリング幅	0.020	—	°C
計数時間	—	2.0	秒
ステップ幅	—	0.020	°C
検出部 (Detector)	シンチレーションカウンタ (SC)		